



『みらい百花』

若者たちが未来を描くための
キャリア教育支援誌です

「将来、自分はどんな仕事に就いているんだろう？」

「今勉強していることって、本当に役に立つの？」

そう考える若者たちの将来の選択肢を広げ、“ありたい姿やなりたい自分を考えるきっかけにしてほしい”との想いで作られている『みらい百花』。

働く大人たちも実は、学生時代は進路に悩み、紆余曲折を経て自分が輝ける仕事を見つけている…その人生ドラマを一冊にギュッと凝縮し教育現場で活用していただこうと、神奈川県内の中学校・高校に無償配布しています。

若者支援に賛同する100社以上の会員企業の協賛をもとに、編集室メンバーが40以上の企業や社会人にインタビューし冊子を制作、毎年1回発行しています。

- 一学年分 無償配布
- 地元企業40社掲載
- ワークシート付

2021年創刊
配布エリア
配布数

毎年9月下旬発行

横浜市・川崎市・横須賀市・相模原市・町田市・藤沢市

約43,200部240校（公立・私立中学校および高等学校）※2024実績



職業インタビュー（1P/2P）

学生時代のエピソードや仕事での失敗談をひとつのストーリーにまとめた取材記事。



巻頭特集・企業特集

中高生が気になる職業や、知られざる企業の取組みにフォーカスし、その想いに迫ります。

CONTENTS

毎年新たな企画も！

特別企画

どんな進路選択をして仕事に就いたの？学びは仕事につながる？中高生のギモンを社会人に聞きました。

ワークシート

進路選択に必要な「自分を知る」ためのワークシートを収録しています。



webサイトでも見られます！

検索またはリンクから▶

Q アスリード みらい百花

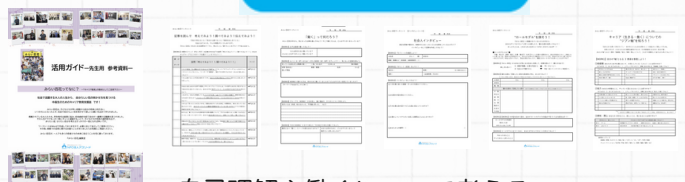


ARCHIVE
アーカイブ



2020年（創刊号）からのバックナンバーもPDF版として閲覧できます

一括ダウンロード



自己理解や働くについて考える
全5種類のワークシートはwordデータでアレンジOK
教員用活用ガイドもあります



『みらい百花』活用レポート 星槎中学校



▽インタビュー協力

S先生（30代） 3学年 主任
私立学校教員歴 10年
生徒とじっくり向き合える学校を求めて
星槎中学校と出会い、4度目の3学年担当。

学校プロフィール

- ☑ 私立中学校
- ☑ 横浜市緑区
- ☑ 生徒数：約430名
各学年：約140名
- ☑ 創立20年
- ☑ 文部科学省指定
学びの多様化学校
さまざまな才能・個性の生徒

『みらい百花』活用時期



学年：中学3年
時期：11月頃

1年

2年

3年

活用事例

職業調べの参考資料として

本校では3年次に学校独自の科目「ステップ」があり、①自分を知る②社会を知る③仕事・進路を知る…の3つを主な目的として、学校オリジナルのワークシートをもとに週1回の授業を行っています。

具体的には、自分の長所や短所を書き出してから面接練習をしたり、将来の経済的自立について学んだり、適職診断を行ったりします。1年間の最後にはスライドを使った「職業発表」を行うため、調べ学習で『みらい百花』を利用。具体的な仕事内容が載っているので、適職診断で出た知らない職業について詳しく知る材料にもなっているようです。

ポイント

一人一冊を手元における

職業調べの際は、情報の科目とも絡め生徒が複数の情報源にあたるよう意識しています。生徒たちは図書館の資料やインターネットの情報とあわせ、一人一冊配付する『みらい百花』を活用。タブレットでスライドを作成しながら手元の冊子を参考にできるので、正確に情報を読み取りやすいという利点もあると思います。



紹介する職業：中学校教諭

仕事に活かせる自分の長所：

- ・人と話すのが好き→生徒の話を聞ける
- ・一つのことを夢中になれる→専門教科を学べる
- ・細かい作業ができる→パソコンや事務作業ができる

～調べてみての感想～

普段みじかにいるけれど知らなかった中学校教諭の大変さ、楽しさを知ることができました！

↑生徒が作成したスライド

みらい百花の ココ！

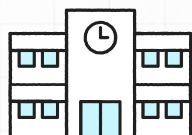


"みんなが知っている"職業よりも、"身近にある"職業。 生徒たちが将来就く可能性も高いのでは？

中学生の段階で職場体験も実施したいという思いはありますが、一人ひとりの生徒に合わせた受入れ先の手配が難しく、その代替として職業調べに取り組んでいます。（※星槎高校では選択授業でのインターンシップあり）

多くの生徒は目にふれる仕事以外を知らず、調べ学習のなかで興味のあるeスポーツプレイヤーやyoutuberになることは難しいという現実と直面することも…。そんな時、自分の将来のイメージを具体的にもつためのツールとして『みらい百花』は選択肢を与えてくれていると思います。

星槎中学校 の取組み



星槎中学校では、共生社会の創造を目指す「共感理解教育」を掲げ、生活面・学習面などさまざまな角度から、生徒一人ひとりに合わせた指導計画を作成。"進路指導担当"という教員はおらず、全教員がそのノウハウをもちながら生徒たちと向き合っています。

卒業した生徒とのつながりや星槎高校との連携がしっかりあるからこそ、生徒の将来を見据えながら「少しでも仕事や将来への視野を広げてほしい」との思いで授業づくり。担当教員はワークシートや指導内容に毎回アレンジを加えています。



『みらい百花』活用レポート 横浜市立 横浜吉田中学校



▽インタビュー協力

H先生（40代） 2学年 学年主任
公立中学校教員歴 20年
途中で変わってもいいので「なりたい自分」や
「やりたいこと」を生徒たちに考え続けて欲しい。

学校プロフィール

- ☑ 公立中学校
- ☑ 横浜市中区
- ☑ 全校約450名
学年約150名
- ☑ 統合校として創立12年
- ☑ 国や文化が多様な生徒
地域の方々による
学びへの支援も充実

『みらい百花』活用時期



学年：中学2年
時期：9月下旬

1年 2年 3年

活用事例

「こんな大人になりたい」 ワークシートでイメージをもつ

本校では主に総合の時間でキャリアに関する授業を行い、学年ごとに計画を立てています。1年次は校内での職業体験を長年実施しており、豊職人やパイロット、医者、システムエンジニアなど地域の方々に協力いただいています。

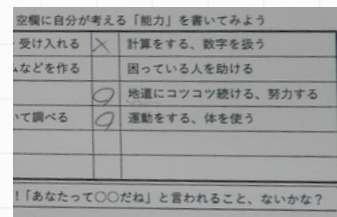
2年次は多様な高校について説明する進路学習がありますが、その前に「自分の生き方について考えてほしい」と模索していた時に届いたのが『みらい百花』。巻末の『ジブン軸』ワークシートも使ってみるようになりました。

他にも県が提供するライフキャリア教育プログラムや、地域の大手メーカー若手社員による職業講話も組み合わせ、1月には保護者を交えての進路説明会の開催を予定しています。

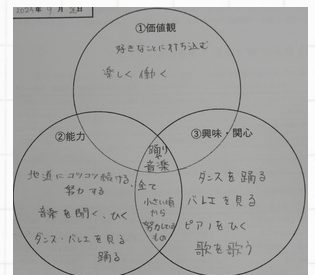
ポイント

スモールステップがあるワーク

好きな事や趣味は分かっているけど、自分の「強み」や「いいところ」となるとうまく表現できない生徒も…。『ジブン軸』の価値観・能力・興味関心の3つの円にキーワードを書き込む際は、自分でゼロから考えるだけでなく、チェックリストから項目を選ぶことができるので、そこからヒントを得ることもできたようで「予想以上に書き込めていた」と他の先生方も言っていました。



生徒が記入したシート※抜粋
上：チェックリスト 右：『ジブン軸』3つの円



みらい百花の ココ！

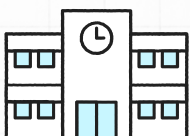


「この学校、練習試合で行った！」その人の経歴から、仕事を身近に感じる

本校では「やりたいことは高校で見つけない」と考える生徒が多いようで、『みらい百花』の取材を受けた社会人の方の経歴に知っている学校が載っていると、「この進路からこの仕事に就けるのか」と興味をもつきっかけになるようです。

また、生徒の進路選択にはそのご家庭の教育方針や考え方が大きく関わります。冊子を持ち帰って家庭でも将来について話し合うきっかけにしたいですし、ご家族の皆さんにも色々な職業や価値観にふれてもらえたらと考えています。

横浜吉田中学校 の取組み



半数の生徒がアジアや中東など多様な国にルーツをもつ本校では、多文化共生授業にも力を入れています。「マイストーリーテリング」は好きな音楽や家族について伝え合い、言葉や文化が異なっても「これが好きなんだ」「私もだよ」と認め合うことを大切にする取組みです。

転入してきたクラスメイトに、自分の知っている英単語や母国語を駆使して話しかけ、当たり前をサポートする生徒たち。共感して行動する力を持っています。



『みらい百花』活用レポート 横浜市立 高田中学校



▽インタビュー協力

K先生 (50代) 1学年 学年主任
公立中学校教員歴 28年
吹奏楽部顧問。中学時代、意図せず担当になった金管楽器を今も社会人楽団で続けています！

学校プロフィール

- ☑公立中学校
- ☑横浜市港北区
- ☑生徒数：約350名
各学年：約120名
- ☑創立38年
- ☑併設型小学校・中学校
を導入、2小学校と連携
住宅が多い地域

『みらい百花』活用時期

学年：中学1年
時期：11月上旬



1年 2年 3年

活用事例

働く大人への質問を考える 材料として

本校の1年次は、文化祭などの行事を終えた11月にキャリアに関する授業を10コマ実施。「私にとって"働く"とは何か」と考えることから始まり、職業適性検査や仕事に関する動画鑑賞、社会人を招いた講話を聞いていくなかで、自分の生き方を考え、これからの学校生活にも活かしてもらうことをねらいとしています。

職業講話は、生徒が興味に合わせて聞けるよう分野が異なる6つの企業に依頼。当日までの調べ学習や質問を考える参考資料として、全員に『みらい百花』を配付しました。



みらい百花の記事 (左) と職業講話当日の様子 (右)

ポイント

中学生も共感してしまう "生きた言葉"がある

『みらい百花』の前身の冊子から読んでいて「いいな」と感じるのは、仕事で今まさに壁にぶつかっている若い世代の飾らない言葉が載っていること。社会人の成長していく姿を身近に感じながら、その仕事について知ることができますし、「中学校での経験が今につながっている」というエピソードも、生徒の心に響いているようです。

掲載された社会人の方が講話に登壇した教室は「あのんだ！」と芸能人に会えたような盛り上がりを見せ、事前学習の効果がより高まりました。

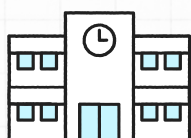
みらい百花の ココ！



職人も事務職もエンジニアも… 多様な職業にふれられる

会社勤めの方が多い地域でもあるからか、『みらい百花』をめくりながら「自分の知らない仕事ってまだまだたくさんあるな…」とつぶやく生徒もいます。好きなスポーツを仕事にするには、「プロ選手だけでなく広報や通訳としてチームを支えるという関わり方もある」といった切り口の記事は将来への視野を広げてくれますし、「色々な仕事をする人がいて世の中はまわっている」ということにも気付かされます。仕事も生き方も、1つだけじゃないことを早い段階から知ることができたらきっと楽しいし、進路選択にも幅をもたせることができると思います。

高田中学校 の取組み



本校では、小学校から9年間を見通して行う「たかた科」という学校独自教科のなかでキャリアなどに関する授業を行っています。中学2年次には食品メーカーの協力を得て、「関東と関西の味付けの違いを知る」「商品パッケージを考案する」など生徒が夢中になれるプログラムを先駆けて実施してきました。2年間この学校の取組みを見てきて、「出会える大人の幅をさらに広げたい」とも考えるようになり、目の前の生徒に合わせた授業をどう作っていくのか、試行錯誤しています。



『みらい百花』活用レポート 横浜市立 茅ヶ崎中学校



▽インタビュー協力

F先生（40代） 1学年 総合担当
公立中学校教員歴 17年
茅ヶ崎中の生徒たちは、授業や部活、行動など、全てに意欲的に取り組んでいます。

学校プロフィール

- ☑公立中学校
- ☑横浜市都筑区
- ☑生徒数：約890名
各学年：約290名
- ☑創立44年
- ☑市内で最も子育て世代が多い都筑区
の中心地域に位置

『みらい百花』活用時期

学年：中学1年
時期：11月上旬



1年 2年 3年

活用事例

知らない仕事にふれる！ 職業調べの参考に

本校では、合唱コンクールなど行事を終えた11月から3月にかけて10コマ程度、キャリア学習を実施しました。1年次は「地域にある会社がどんなことをしているのかを知り、地域社会の発展について知ろう」というねらいで職業講話を中心に授業を展開。探究的な視点も大切にしています。

『みらい百花』はその導入として、巻末の『ジブン軸』ワークシートに自身の価値観・能力・興味関心を書き込みました。その後、興味のある職業を1つ決めてロイロノートにまとめる時間には参考資料としても活用。一人ひとりが調べた職業をクラス内で発表し合い、多様な仕事を知ってもらった後で、実際に社会人を招く予定です。

ポイント

横浜を支える地域の企業を知るキッカケになる

以前の学校では、生徒が「知っている」企業を学校に招くことで、仕事や職業への「楽しい」「分かる」につなげたいと考えていました。

一方で『みらい百花』に掲載されているのは、ほとんどの生徒が初めて出会う企業。教員の自分も一緒に、地域に根付いたたくさんの「仕事」や「働く」を知る機会にもなると感じ、授業全体のねらいも、あえてそこに焦点を当てるようにしていきました。



作家とは

一言で言えば「文章を書く仕事」です。自分で考えた物語や事実に基づいて作品などを書いています。作家にも種類があり、小説家や劇作家、絵本作家、漫画家などがあります。今回は小説家について詳しく調べます。

作家が作られるまで
1. 打ち合わせ
2. 編集提案
3. 編集・校正
4. カバーデザイン
5. 印刷・出版

最近、小説を読むことが好きで私がよく読んでいた小説はどのように入社したのか聞いてみるのが気になったから。

生徒が調べた職業のイラスト

生徒が調べた職業のイラスト

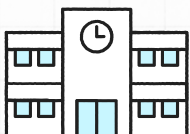
みらい百花に 提案！



1ページの中に1つ、授業の導入にできる"クイズ"や"課題"を

社会人の想いや、どんな経緯でその仕事に就いたのが1ページにギュッと詰まった『みらい百花』は、教員の自分にとっても非常に興味深いもの。一方で、長い文章をじっくり読むのが難しい生徒も…。クラス全体でみらい百花を開く際に、例えば「〇〇というやりがいがある仕事は何だろう？」など問いを出し、読み進めると分かる…といった仕掛けがあると、もっと活用しやすくなると感じました。

茅ヶ崎中学校の 取組み



本校で育成を目指す力の1つに「問題発見・解決能力」があります。昨年までは社会人の話を"聞く"形のキャリア学習でしたが、今年は、企業が抱える課題に解決策を"提案する"プログラムに挑戦したいと、アスリードに依頼し地域企業の皆さんに様々な課題を出していただきました。ただ聞くだけでは想像できないことも、「一緒に考える"体験を通して、「アイデア1つ出すのも難しい」「プレゼンって大変」と感じられています。また、働くことをより具体的にイメージすることにもつながっています。初めての取り組みに生徒も苦戦していますが、しんどさと達成感の両方を感じてほしいな、と考えています。



『みらい百花』活用レポート 横浜市立 市ヶ尾中学校



▽インタビュー協力

S先生（40代） 1学年 総合キャリア担当
公立中学校教員歴 12年
学生時代、人形劇の"演出"を経験。今は生徒が成長する"仕掛け"を模索する日々。

学校プロフィール

- ☑ 公立中学校
- ☑ 横浜市青葉区
- ☑ 生徒数：約580名
各学年：約190名
- ☑ 創立39年
- ☑ 落ち着いた住宅地で
保護者や地域の方の
教育への関心が高い

『みらい百花』活用時期

- ① 中学1年 10月頃
・『ジブン軸』
- ② 中学2年 10月頃
・冊子読み
・『ジブン軸』

1年 2年 3年

活用事例

『ジブン軸』 × 社会人

本校では、文化祭などが一段落する秋頃から総合の時間にキャリアの授業を実施。1年次は「多様な価値観・多様な働き方を知る」ことをねらいとし、多分野の社会人の話を聞きます。

その事前授業として、巻末にある『ジブン軸』ワークシートに取り組み、自分の価値観・興味関心・能力のキーワードを記入。社会人の方にも自身の『ジブン軸』を発表していただくと、それを参考に書き足す生徒もいました。「まずは好きな事から書いてみよう」とアドバイスをくれる方もいたり、他者の考え方にふれ自分の可能性を広げることができたのではないのでしょうか。

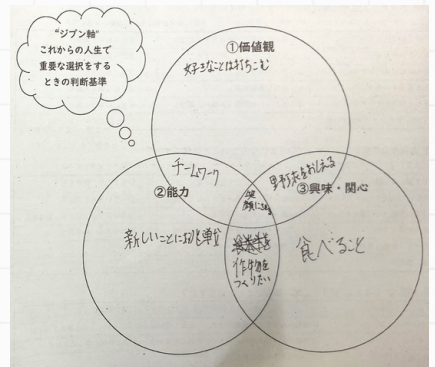
2年次は社会や仕事にふれるため、地域企業の課題解決に挑戦。その事前学習でも『みらい百花』のインタビュー記事を読み込みました。

ポイント

繰り返し立ち返り 変化に気づけるワーク

1年次に取り組んだ『ジブン軸』のワークシートはキャリアパスポートに残すので、2年次に改めて作ったものと比較ができます。1年間の成長を感じる生徒もいれば、「変わらない”軸”に気づく生徒もいるかもしれません。

情報を集めながら整理し見直していく過程は、自分の生き方の探究にも必要だと思います。



2年生作成の
ジブン軸→

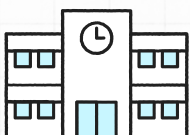
みらい百花に 提案！



中学生が読み始められる"入り口"を増やしてほしい

非常に丁寧な取材を経て、現場の人の言葉を詳しく載せてくれていると感じていますが、一方で他の中学生向け教材と比べると文字が小さく多いかもしれません。「頑張りは必ず実を結ぶ」など、中学生が思わず読みたくなるような見出しはより大きく目立たせて、メインの文章を絞っていただくと、教員も授業中に取り上げやすくなります。「開発」「生産現場」という単語がイメージできない生徒もいるので、ビジネス用語の解説コーナーなどがあると新たな学びにつながりそうです。

市ヶ尾中学校 の取り組み



2013年にユネスコスクール※に加盟した本校では、授業はもちろん委員会活動等にもSDGsの視点を取り入れ、生徒が自ら課題を解決する力を育成しています。

企業と協働する2年次のプログラムでは、生徒たちがより自分事として関心をもてるよう、地域の身近な企業のコーディネート(asr)に依頼しています。

※…ユネスコの理想(教育や科学、文化の推進、発展を通じて、戦争の悲劇を二度と繰り返さない)を実現するため、国際的な連携やプロジェクトを実践する学校。日本に1088校ある(2024年4月)。



『みらい百花』活用レポート 横浜市立 豊田中学校



▽インタビュー協力

M先生（40代） 1学年 副担任
公立中学校教員歴 18年
理科教諭ですが、みらい百花を読んで
ものづくりの仕事に憧れをもちました！

学校プロフィール

- ☑ 公立中学校
- ☑ 横浜市戸塚区
- ☑ 生徒数：約600名
各学年：約200名
- ☑ 創立54年
- ☑ 戸塚駅周辺や住宅地
など、広範囲から
生徒が通学

『みらい百花』活用時期

学年：中学1年
時期：1月



1年 2年 3年

活用事例

職業講話の事前学習で5つの ワークシートに取り組む

1年次の秋から始まるキャリアの授業について、学年の先生方に「『みらい百花』を使って授業をしたい」と夏休み明けに説明。コロナ禍以降継続利用していたwebサイト上のワークシートをダウンロードし、今年は5種類全部を活用することにしました。

授業の最初4コマはNHKの『仕事ハッケン伝』というタレントさんが職場体験する映像を鑑賞し、楽しみながら"仕事"をイメージ。その後、1コマにつき1枚のペースでワークシートに取り組み、授業進行は各担任に任せました。読み書きが得意な生徒たちですが、記事をヒントに行うグループワークも時間が足りなくなるほど夢中に。複数テーマから話したいものを選べたのもよかったのかもしれません。

ポイント

たくさんのキャリアの情報に 触れるための"視点"をもてる

例えば『ロールモデルを探そう』というワークシートでは、学校にある他社の教材も生徒に共有し好きなところから抜き出してもらいました。書き込む際、ヒントになる"視点"が書いてあるので、どんな情報源からでも記入しやすい。自分の「好き」や「いいな」にアンテナをはって、多様な仕事を知るきっかけにできると思います。

お名前	さん
会社名	
職種	屋根リフォーム・外壁塗装
憶える部分／目指したい部分	
行動	お仕事を頑張るってスリッパが
考え方	笑顔になつて明るく
姿勢	よく通じがたも仕事
能力	きくと行こうというくらい
仕事	を大事にしている。
働き方	仕事がきつたためだけに助
生き方	たすけられるてやりがい
その他	感じる。仕事がしやすい環境 つくりをいっているそう

ワークシート抜粋↑※一部加工

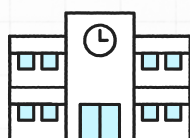
みらい百花に 提案！



授業の導入に使える "紹介動画"もあったらいいな

ワークシートもインタビュー記事も充実しているので、子どもたちが興味をもちそうなポイントや「身近な働く大人はどんな仕事をしているんだろう？」といった共通の問いを共有してから取り組めるよう、短い紹介動画があるといいのでは。「みらい百花とは」という概要や、ワークの問いのねらいを伝えるものもいいですし、多数いる学年の先生方と教材や進め方を検討する際にも役立つと思います。

豊田中学校の 取り組み



本校では生徒たちの将来に向けて、教育課程全体で育成を目指す資質・能力に「問題発見・解決能力」と「自分づくりに関する力」を掲げ、1年次に職業講話、2年次に職業体験、3年次は進路学習に取り組んでいます。しかし、教員個人のつながりを使って講話を依頼したり、授業の合間を縫って広域の学区で体験先を探すことに限界を感じており、コロナ禍を経て外部へ相談するように。今年は1年次の講話で8社の調整をアスリードに依頼、『みらい百花』を参考に業種の希望も伝えました。2年次は職場体験としてキッザニアの中学生向けプログラムを利用する予定です。



『みらい百花』活用レポート 横浜市立 港 中 学 校



▽インタビュー協力

O先生 (30代) 2学年 学習指導部
公立中学校教員歴 15年
自分の子どもが産まれてから、より「生徒
と同じ目線で関わりたい」と思うように。

学校プロフィール

- ☑ 公立中学校
- ☑ 横浜市中区
- ☑ 生徒数：約360名
各学年：約120名
- ☑ 創立78年
- ☑ 学区内に観光地が
あり、外国につながり
のある生徒も多数在籍

『みらい百花』活用時期



学年：中学2年
時期：秋

1年 2年 3年

活用事例

職場体験の 事前学習で配付

本校では2年次の1月に職場体験を実施。
その事前学習として、飲食・医療・福祉・
工業・教育など希望する体験先の"職業"
について個人で調べ、A4用紙に自由な形式で
まとめています。『みらい百花』は全員に
配布し、図書館の資料とあわせて活用して
もらっています。発表の時間までは取れな
かったので、作成したレポートを廊下に掲
示し、全員が見られるようにしています。

他にも事前学習としてNHKの『仕事ハッ
ケン伝』を鑑賞したり、講師を招いたマナ
ー講座で挨拶の仕方を学んだりしました。
職場体験の直前には、電話掛けや事業所と
の打合せも生徒自身が行っています。

ポイント

"知らなかった仕事"が 将来の選択肢を広げる

生徒たちが知っているのは、子どもの頃からの夢
やネットに関する仕事など、ほんの一部です。『み
らい百花』では「仮設機材管理」など初めて目にす
る仕事それぞれの素晴らしさが載っていて、夢がも
てます。

「こんな仕事や働き
方があるんだ」と今か
ら知っておけば、いざ
働く時にも思い出せる
でしょうし、「様々な
仕事があって私たちの
日々の生活が成り立っ
ている」ということも
生徒に伝えるようにし
ています。



みらい百花05号より

みらい百花に 提案！

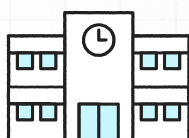


その職業に就くために必要なことを知りたい

具体的な進学先や必要な資格など、生徒が「今何をすればいいのか」が分かるコ
ーナーや特集を作ってほしいです。自分の子どもに読み聞かせした職業の絵本にも
出てきて、段階を追っていけるのがいいなと思いました。

3年次の進路選びの授業も、これからのキャリア全体を視野に入れてより充実さ
せたいと考えていて、そのヒントになるものもあったら嬉しいです。

港 中 学 校 の 取 組 み



コロナ禍を経て復活させた職場体験は"1日"でしたが、教員の想いや体験先の方の
意見もあり今年度は"2日"実施に挑戦しました。長時間の仕事は「楽しかった」で終
わらず、「大変だった」という部分も少なからず見つかります。逃げずに向き合わ
なければならない経験を通して、学校で学ぶ姿勢も変わると思います。また、保護
者の方がどんな思いで働いているのかを考える機会にもしていきたいです。

今後は学年ごとだけでなく、3年間を見通した指導計画を作っていきたいと考え
ています。



『みらい百花』活用レポート 明蓬館 中等部

横浜・関内SNEC（学習センター）



▽インタビュー協力

I先生（50代） サブスクールマスター
通信制高校など私立学校の教員歴 約30年
地域との連携を模索していた時、中学生の息子が持ち帰った『みらい百花』に出会う。

学校プロフィール

- ☑ 在籍中学校と連携する
民間のフリースクール
（運営：明蓬館高等学校）
- ☑ 横浜市中区
- ☑ 生徒数：12名
- ☑ 創立4年
- ☑ 横浜市内などから電車で
通う生徒生徒が多い

『みらい百花』活用時期



学年：中学
1～3年
時期：3月

1年

2年

3年

活用事例

企業を招いて職業体験を実施

本校には「マイプロ」というオリジナルのカリキュラムがあり、探究レポートや検定試験・アート作品などを成果物とします。そのなかで将来の夢や仕事に結びつく場合もありますが、職業体験など実際の仕事を体験したり話を聞いたりするという機会は、これまで作れてはいませんでした。

今年度、『みらい百花』を知ってアスリードに校内でのプログラム企画を依頼。生徒の特性や進路状況などを伝え、生徒に身近なエリアの地域企業さまにしごと体験を提供いただくことにしました。事前学習として「この会社が来てくれるよ」と伝えながら、記事を読んだり企業調べをしたりと、準備したいと考えています。



企業を招いた授業の様子（後日撮影）

ポイント

生徒も保護者も企業も 選択肢を広げる機会に

本校はそれぞれの特性や興味関心がはっきりしている生徒が多いので、それを将来の仕事にもつなげられたらと考えています。『みらい百花』に書かれた「働く人の視点」を通して、例えば「体を使って建設資材を組立てる仕事は苦手でも、管理する職種は合うかもしれない」と私自身も発見がありました。

企業の皆さまにも、本校のような学校の存在を知ってもらい、生徒たちの個性や強みにふれてもらえる機会になればと思います。生徒の保護者の方にとっても、積極的に協力してくれる地域企業の存在は、大きな励みになるはずです。

みらい百花の ココ！

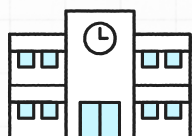


地域の企業だからこそ"就職後の自分"が具体的になる

先の見通しが持てると生徒たちも安心できるので、日々の時間割も先生と相談しながら自分で決めています。地域企業が掲載されているので、「この会社に通勤するなら、何時に家を出たらいい？」など、就職後の自分を具体的にイメージする練習にも活用できそうです。

取材対象者の方の経歴にも、通信制や定時制など多様な出身校が並び参考になりますし、地元の学校名が載っていることで、自分が目指す「将来の仕事」に今の学びや今後の進学先がどうつながるのか、イメージしやすくなると思います。

明蓬館中等部の 取組み



集団のなかでは生活のしづらさや学びづらさを感じてしまう生徒たちのニーズや保護者のリクエストを聞きながら、「じぶん」らしい学び方の計画を作成し、伴走しながら支援していくのが本校の特徴です。中学校の教員免許をもつ学習サポーター、生徒、保護者に寄り添う相談員（公認心理師）の他、本校の特色でもあるデジタル教材の活用を推進するICTサポーターがチームとなって支援しています。

明蓬館高等学校（通信制）のモットーは「未来のジブンが好きになれる」。中学生のうちから、仕事体験などを通して生徒たちが将来を楽しみに考えられるようになるという思いがあります。